NAVIメガーヌ用に選んだのが「FLAXY／ルノー・メガーヌ右ハンドル車用」。価格は3万5900円（税込）。　問合せ＝株式会社カロ　KAROお客様相談室（☎03-3374-1955）www.karo1980.jp

［意匠］
実用車選びの
"穴"狙い
ルノー・メガーヌ2.0
RENAULT MEGANE 2.0
第28回

写真＝田中秀宏

畳とフロアマットは……

ハイヒール疑惑

弊社スタッフの間で「NAVIメガーヌの担当者はハイヒール愛好家か」という噂が流れたのにはワケがある。

さすがにサイズと形はぴったり。踵があたる部分がゴムで補強されているので心強い。KAROでは、適応車種以外でも型紙を持ち込むことでマットの製作をしてくれるという。たとえば、ハッチバックの荷室にも、運転席と同じ素材と柄のマットをあつらえることが可能だ。

何はともあれ、フロアマットの写真をご覧ください。ペダル操作時に踵があたる部分に、見事な穴が開いている。ハイヒールを履いている人は好きだけど自分で履く趣味はない、という話はさておき、フロアマットに穴が開いているだけで随分とヤレた印象を受ける。こりゃなんとかしないといけない。

純正品をもう一度装着するのもイマイチ芸がないと考えた担当者は、ステキなフロアマットを探す旅に出た。条件はふたつ。せっかくなので、オシャレなメガーヌにふさわしい色や柄を選びたい。それから、当たり前だけどルノー・メガーヌという日本におけるマイナー車種に対応していないといけない。

旅から戻った担当者の手には、2133車種に対応（2006年12月1日現在）するというKAROのカタログが握られていた。試しにKAROのホームページで適応車種情報「RENAULT」をクリックすると、メガーヌはもちろんアルピーヌA310（！）までラインナップされていた。

現在、KAROのフロアマットのラインナップは5種類で、それぞれ素材や織り方が異なる。担当者が選んだのは、「FLAXY」（フラクシー）という特殊化学繊維をループ織りにしたもの。インパクトのあるメガーヌの外観に負けないインテリアにするために、発色性が高く、足元が明るくなるというこの銘柄に白羽の矢を立てたのだ。色はボディカラーにあわせて「ブリリアント ブルー」をチョイス。

畳や絨毯を替えると部屋が明るくなるけれど、フロアマットの交換にも同じような効果がある。新車になった、とは言わないまでも、走行距離5万kmを目前にかなり若返った。

運転席のドアを開けて乗り込もうとすると、パッと明るいフロアマットが目に入って、ちょっと嬉しい。回春剤ならぬ回春材である。（報告＝サトー）

ハイヒールを履かなくとも、走行距離5万kmでこうなる。